

1. 建物概要
木造銅板葺平屋建数寄屋造り
129.12平方メートル（約40坪）
茶座席 10帖 各4帖鞘の間
 大人数のときは18帖になります。
立礼席 34.3平方メートル（使用人員1回15人程度）
水屋勝手 9.9平方メートル
収納庫 水洗便所等 冷暖房完備
2. 費用（建築・造園費）73,153,800円
3. 運営について
紅松庵運営委員会（茶道会の代表者により構成）に委託し、茶道の心得のある職員が常駐し、この運営にあたる。
※ 団体（10人以上）で京出しを希望するときは、前もって紅松庵へお申し込み下さい。
4. 茶室の使用について
イ、茶会・茶事以外には使用できません。
使用は、茶道に精通された人の指導を必要とします。
ロ、使用申込先
和歌山城整備企画課 和歌山市七番丁23番地
電話 073(435)1044
又は紅松庵 和歌山市一番丁3番地
電話 073(431)8648
5. 使用料
茶座席 午前9時から正午まで 5,760円
 正午から午後4時まで 8,170円
立礼席(専用) 午前9時から正午まで 5,760円
 正午から午後4時まで 5,760円
冷房 1時間につき 200円
暖房 1時間につき 410円
京出し(立礼席) 1服(1人) 470円
6. 休日、使用時間
休日 12月29日から翌年1月3日まで
利用時間 午前9時から午後4時30分まで
7. 使用心得
使用者及び責任者は次の事項を厳守するよう参加者に徹底して下さい。
イ、建物・備品・庭園など損傷することのないようにすること。
ロ、注意事項・禁止事項を守ること。
ハ、茶道具は出来るだけお持込み下さい。
ニ、静穏を害しないよう注意し、他人に迷惑をかけること。
ホ、和歌山市都市公園条例・規則を厳守して下さい。

INFORMATION

The Kōshōan(a tea room)
The Momijidani Teien Garden in the site of Wakayama Castle was one of the best among the gardens built within the walls of a castle in the early Edo Period. However, the garden was deserted for a long time and badly damaged. The garden was restored completely under the guidance of Dr.Osamu Mori, an authority on gardenbuilding. The restoration work started in 1970 and took three years to complete. For the commemoration of the completion of the restoration work, the late Kōnosuke Matsushita, an honorary citizen of Wakayama City, offered to donate a tea ceremony room to the city. The construction of the room started in October of 1973 and completed on May 17, 1974.

The building is a copper-roofed, one-story wooden rustic style house and has a tea ceremony room with Tatami mats, one with benches, a washing-place and a storage space. The whole building is fully air-conditioned. The late Matsushita personally named the house "The Kōshōan".

The view from the tea room is very beautiful throughout the year. Please enjoy the tea, the view and the murmur of a stream.

和歌山城整備企画課

ご案内

茶室 紅松庵
和歌山城紅葉溪庭園は、江戸時代初期に作庭された全国の城郭庭園中屈指の名園でありました。

しかし、長年の歳月で荒廃著しく、これが修復を依頼した斯界の権威、森縉博士の、蘊蓄を傾けたご指導により、昭和45年度より3ヶ年をかけ見事に復元整備されました。

これを記念して、本市名誉市民、故松下幸之助氏より茶室ご寄附のお申し出があり、昭和48年10月起工、翌年5月17日完成、和歌山市にご寄贈されたのであります。

建物は、木造・銅板葺・平屋建・数寄屋造りで、茶座席・立礼席・水屋勝手・収納庫等があり、冷暖房も完備しています。特にこの茶室は、故松下氏が今日まで幾つかご寄贈されたものの中でも、最も趣向にかなったものとされており、庵号「紅松庵」も自らご命名・ご染筆されたものであります。

茶室からの庭園の眺めは、四季を通じてすばらしく、溪流のひびきに耳を傾けながら一服をお楽しみいただけるものと思います。



■茶座席



■紅松庵全景



■水屋勝手



■立礼席入口と露地

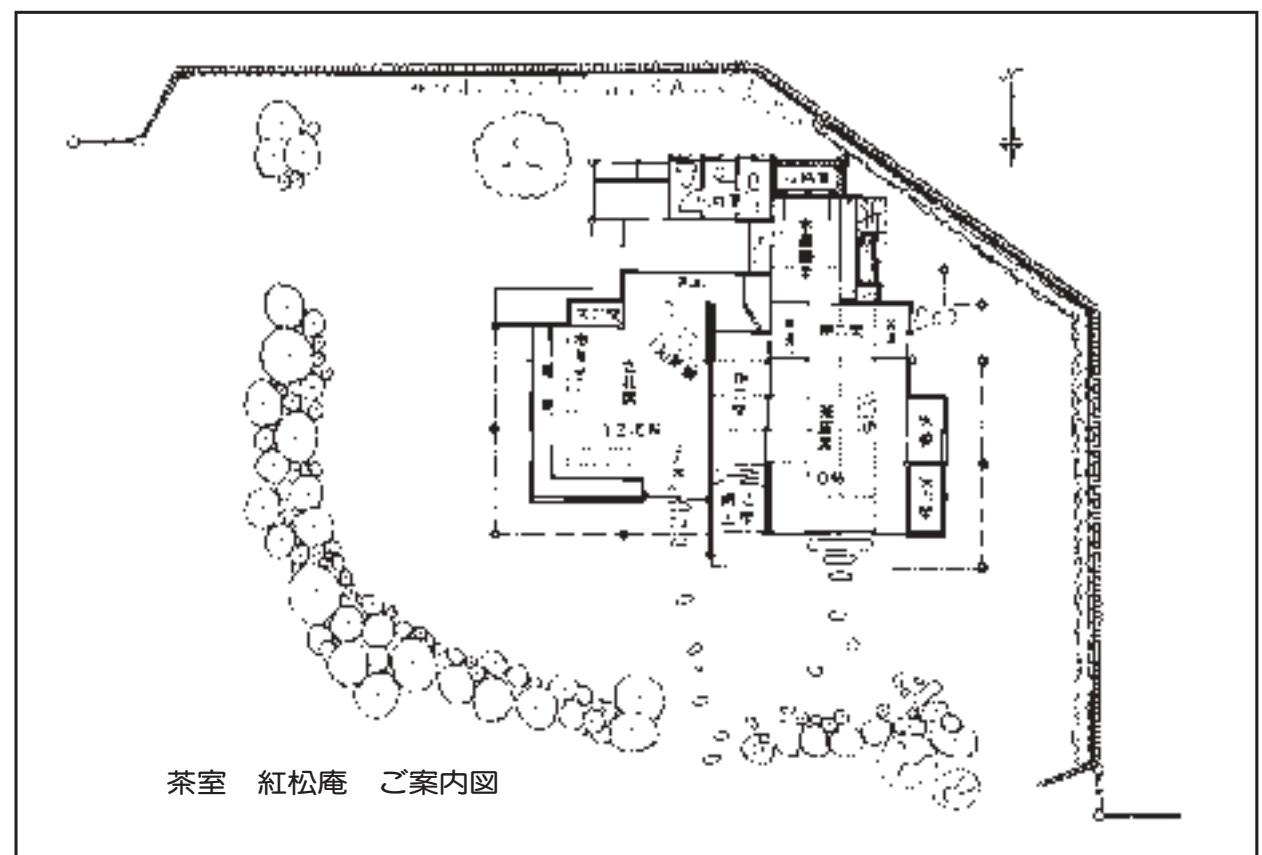


■茶座席より露地を望む

■茶座席入口



■立礼席



茶室 紅松庵 ご案内図